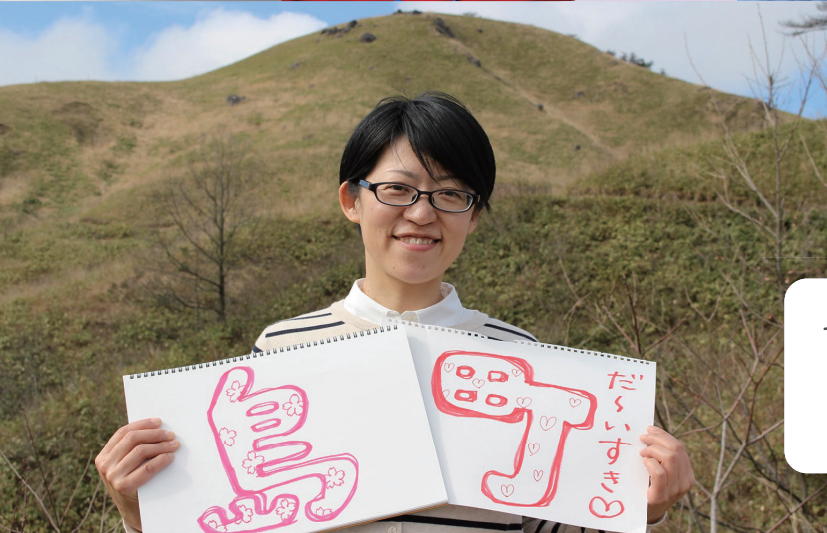


議会だより

vol.44
2016・5・2



皆さんと元気な地域をつくる
地域おこし協力隊

第1回定例議会〈会期：3月8日～3月25日〉

- ▶ 平成28年度一般会計当初予算 2
- ▶ 議案に対する質疑・討論 4
- ▶ 議案審査の結果 5
- ▶ 一般質問 17議員が町政を問う 6
- ▶ がんばってます (北広島町立千代田中学校) 15
- ▶ グループ紹介 (さあくる) 16

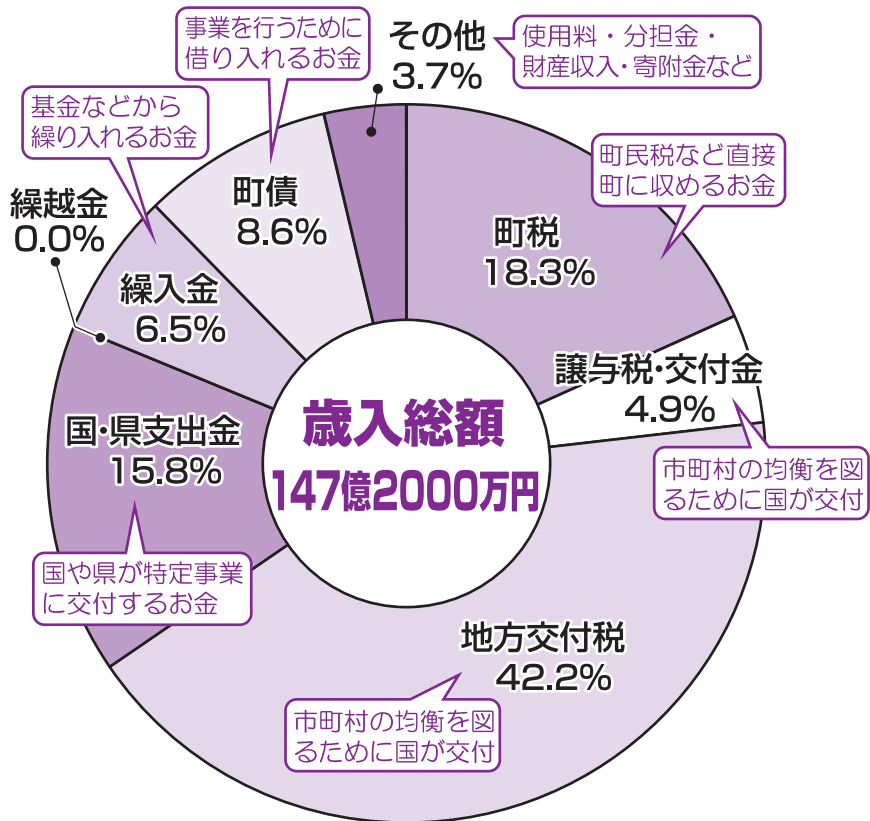
減 147億2000万円

定管理で存続

賛成多数

新年度 予 算

町に入るお金(財源)



3月定例会は3月8日から25日までの18日間の会期で行い、初日に箕野町長が施政方針を述べました。平成28年度当初予算は、予算審査特別委員会で審査を行いました。新年度当初予算13議案、補正予算13議案、豊平病院の指定管理に関する条例や過疎地域自立促進計画の策定など28議案、議員提案の奨学金制度の充実等求める意見書や長期総合計画調査特別委員会の設置など4議案を審議し、原案通り可決しました。特に豊平病院の指定管理委託について活発な議論が行われました。

箕野町政4年「施政方針」より

重点施策は、若者を中心とした定住対策、子育て支援及び集落機能の維持、健康対策事業、就業促進、観光交流促進、ふるさと夢プロジェクト事業などである。北広島町がより一層飛躍できるよう地方創生の風をしっかりとらえ、健全な財政運営を基調としながら新たな魅力や価値を創造し、「住んでよかった」と思える元気で魅力あるまちづくりをめざす。

一般会計当初予算の内訳

項目		平成28年度	平成27年度当初	比較増減
歳入	町税	26億9035万円	26億72万円	8963万円
	譲与税・交付金	7億2830万円	6億9069万円	3761万円
	地方交付税	62億2229万円	64億7809万円	▲2億5580万円
	国・県支出金	23億1934万円	24億5555万円	▲1億3621万円
	繰越金	0	0	0
	繰入金	9億5086万円	6億2059万円	3億3027万円
	町債(借金)	12億6650万円	24億1350万円	▲11億4700万円
	その他	5億4235万円	5億1085万円	3150万円
	合計	147億2000万円	157億7000万円	▲10億5000万円
	歳出	人件費	28億1172万円	28億7300万円
扶助費		16億6405万円	16億2016万円	4389万円
公債費(借金返済)		22億3104万円	24億999万円	▲1億7895万円
普通建設事業費		8億7338万円	24億2584万円	▲15億5246万円
災害復旧費		630万円	0	630万円
物件費		17億8214万円	18億2764万円	▲4550万円
維持補修費		1億6162万円	2億960万円	▲4798万円
補助費等		27億5346万円	23億1092万円	4億4254万円
繰出金		19億9593万円	19億2812万円	6781万円
その他(積立金等)		4億4037万円	1億6474万円	2億7563万円
合計	147億2000万円	157億7000万円	▲10億5000万円	

予防接種、
不妊治療費助成

6735万円

- 不妊治療への県助成の対象範囲が変わります
- 県助成の残を町が全額助成

一般会計

昨年比10億5000万円

豊平病院を指

使いみち



587万円

地域おこし協力隊
3名設置

雲月山にて



補正

1650万円

お試し住宅を
3カ所

空き家バンク登録物件



4235万円

医療費助成を
高校生までに

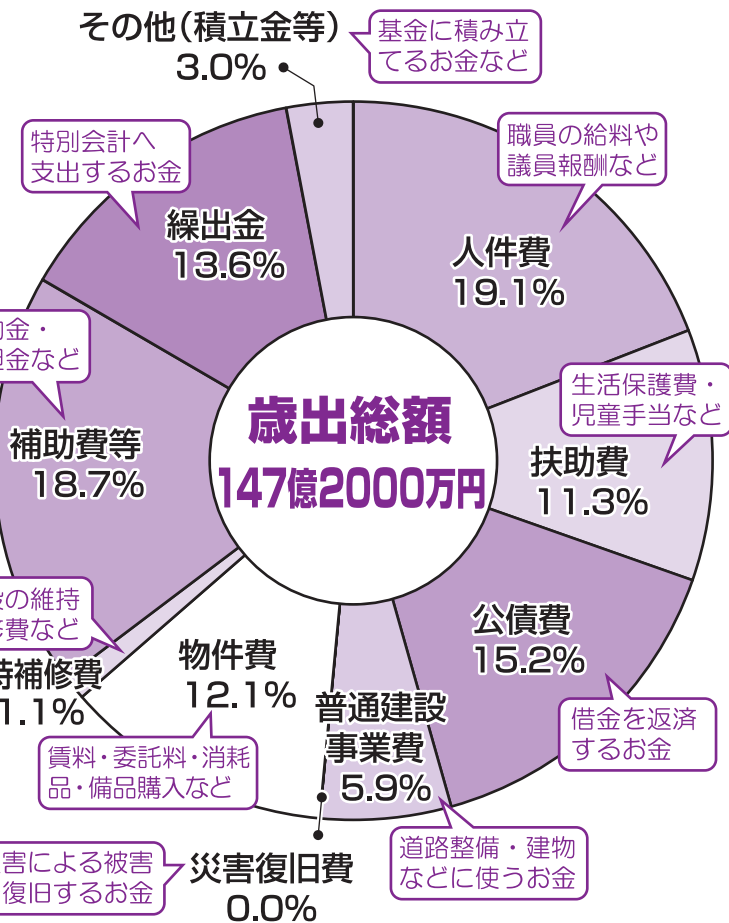
広島県立千代田高等学校



3306万円

特定健診無料・
人間ドック検診を
75才以上まで拡大

集団健診会場



補正

1億828万円

マイナンバーの
ためのシステム
改修

本庁町民課



3183万円

千代田中学校
八重小トイレ改修
耐震設計

千代田中学校



補正

200万円

「茅」を活用した
山麓庵の屋根
ふきかえ

八幡・山麓庵

予算審査 特別委員会 報告

委員長
大林正行

地方交付税の減額など厳しい財政状況の中、事業の選択と集中、業務の効率化、経営削減等の徹底を進めながら、限られた財源で最大の効果が上がるよう求める。今年度は、地方創生の事業が本格的に始まり、第2次長期総合計画策定の年でもある。知恵を絞り、危機感・スピード感をもって事務執行にあたるよう求める。

質疑・討論 (抜粋)

〔一般会計歳入〕

- Q ふるさと寄付金2400万円の算出根拠は
- A 今年度実績3700万円が根拠
- Q 土地の売払い収入652万円の件数と終了年は
- A 1件で28年度に終了する
- Q 不妊治療の補助拡大は
- A 県が15万円で、残りを町が補助する

〔一般会計歳出〕

- Q 千代田インターのバス停の整備はネクスコに伝えているが改善なし
- Q 入居不能な大迫原団地の解体は改修が必要であるが計画はなし
- Q 未入居の教員住宅の利用は
- A 条例改正も考えている
- Q 大朝地域の町民体育館の耐震診断は
- A 耐震診断せず解体する

〔各特別会計〕

- Q 国民健康保険
- Q 後発医薬品は増えているが若干増えている
- Q 適正な基金の額は
- A 予算の5%で約1億円
- Q 第三者納付金と返納金は
- A 交通事故や資格なしの診療分の返納

簡易水道

- Q 明神ハイツはいつ町に移管するのか
- A 変更認可中で今年10月目標

診療所

- Q 外来が減った理由
- A 後期高齢者が減った

後期高齢者医療

- Q なぜ保険料を引き上げたのか
- A 2年に1回の見直しによる

水道

- Q 1億2500万円の変更認可は
- A 江の川からの取水のため
- Q 費用23億円かけて水量は足りるのか
- A 企業も合わせて水量は足りる

豊平病院

- Q 医療法人との契約はいつか
- A 議決され次第速やかに行う

総括質疑

- Q 臭気調査の結果は
- A 町内3カ所で測定。結果は基準値内
- Q オスブレイの騒音対策は
- A 中四国防衛局から連絡があった。広島県内陸部振興対策協議会で協議する

一般会計

反対討論

メリットがはつきりしない

美濃孝二

高校生までの医療費助成拡大、特定健診無料化、75歳以上の人間ドック助成、不妊治療費全額助成、予防接種の助成拡充など、賛成できる予算が含まれている。

しかし、マイナンバー導入関連予算と解放団体補助金が含まれている。また、千代田工業流通団地に進出した企業への企業立地奨励金が含まれているが、町へのメリットがはつきりしていない。莫大な奨励金を出すことは、町民の利益に反するので反対する。

賛成討論

ソフト事業に重点を置く予算

中村勝義

平成28年度一般会計当初予算は、147億2000万円で、27年度に比べ、10億5000万円のマイナス予算である。これは大型事業の大半が27年度で終了したことが大きな要因である。ソフト事業に重点を置き、地方創生に向け重点配分されており、住民の暮らしを重視した姿勢が随所に伺われ、賛成である。

豊平病院事業会計

反対討論

見切り発車的運営

中村勝義

地域住民の安らぎと安心のためにも、医療環境を整える事は大切である。一度は医師確保が困難という理由で無床診療所へと決断された。それがわずか2カ月余りで、指定管理者による公設民営の病院として再出発することである。予算的にも多額の投資であり、見切り発車的な感が強く、反対する。他に「厳しい財政状況の中で、十分な検討がされていないので反対。」

藤井勝丸

賛成討論

町民の健康と生命を守る

田村忠紘

無床診療所に経営形態の変更を発表されて以来、地元では不安から住民運動が起こり、病床を残すよう2700人余りの署名を添えて陳情活動をされた。多額の予算を要すが、町民の健康と生命にかかわることであり、賛成する。他に「医師確保等の条件を付け賛成。」

梅尾泰文

平成28年3月定例会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

専決処分の承認を求めることについて	平成27年度	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
北広島町営住宅等合併処理浄化槽使用料条例		下水道事業特別会計補正予算（第4号）	
北広島町豊平病院事業利用料金及び手数料に関する条例		農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	
北広島町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例		介護保険特別会計補正予算（第4号）	
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	
北広島町ゲートボールコート設置及び管理条例等の一部を改正する条例		電気事業特別会計補正予算（第3号）	
公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例		芸北財産区特別会計補正予算（第2号）	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		診療所特別会計補正予算（第3号）	
職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例		情報基盤整備事業特別会計補正予算（第3号）	
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例		水道事業会計補正予算（第4号）	
過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例		豊平病院事業会計補正予算（第2号）	
北広島町児童医療費支給条例の一部を改正する条例		平成28年度	国民健康保険特別会計予算
北広島町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例			下水道事業特別会計予算
北広島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	農業集落排水事業特別会計予算		
証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	介護保険特別会計予算		
北広島町立学校設置条例の一部を改正する条例	簡易水道事業特別会計予算		
北広島町学校給食共同調理場設置及び管理条例の一部を改正する条例	電気事業特別会計予算		
北広島町火災予防条例の一部を改正する条例	芸北財産区特別会計予算		
指定管理者の指定について	診療所特別会計予算		
行政不服審査会事務の事務委託に関する協議について	情報基盤整備事業特別会計予算		
北広島町過疎地域自立促進計画の策定について	水道事業会計予算		
町道の路線の認定について	監査委員の選任の同意について		
財産の無償貸付について	教育委員会委員の任命の同意について		
提案	奨学金制度の充実等を求める意見書の提出	ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める意見書の提出	
	寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書の提出	長期総合計画調査特別委員会の設置	

■賛否が分かれた議案・提案

○ 賛成 ● 反対

議案名	議員名	真倉	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井	蔵升	田村	美濃	大林	宮本	審査結果	
北広島町豊平病院事業の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
北広島町介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
北広島町豊平病院事業管理者の給与及び旅費等に関する条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
北広島町豊平病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
広島市と北広島町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度	一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度	一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	豊平病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

■請願・陳情等の審議・採決

件名	請願陳情者名	審査結果
地域農業施策等に関する要望書	北広島町農業委員会 会長 市川 由和	採 択
奨学金制度の充実等を求める意見書の提出について	北広島町議会議員 梅尾 泰文	採 択
寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書の提出について	北広島町議会議員 梅尾 泰文	採 択
ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める意見書の提出について	北広島町議会議員 梅尾 泰文	採 択

17議員が町政を問う

どうする？

私たちの町づくり

一般質問の順番と質問項目		
ページ	質問議員	質問項目
6	藤井勝丸	豊平病院の運営と医療・介護の方針は
		自然、環境保全対策を問う
7	中村勝義	地域づくりの人材育成 その成果と今後の取り組みは
		18歳選挙権教育 学校現場は万全か
	農業振興対策を問う	
7	中田節雄	学校のクラブ活動における生徒の送迎について
		危険薬物(覚醒剤)の教育について問う 行政文書の文字を大きくするべきではないか
8	大林正行	きたひろネットの更なる活用を
	室坂光治	県道40号安佐豊平芸北線他 町道除雪・白線について伺う
9	柿原徳則	民間手法の活用について問う
	蔵升芳信	新年度予算重点施策の取り組みを問う
10	梅尾泰文	自然環境を守り快適な生活を
10	森脇誠悟	特産品開発にもっと本腰を 本町の自殺対策の計画策定は
11	藤堂修壮	教育現場の安全確認を 長期総合計画について
		真倉和之
12	美濃孝二	断水事件を検証し、再発防止、危機管理・情報伝達の抜本的改善を 小規模企業振興は地域再生の要、条例制定はどうなったか
		宮本裕之
13	伊藤久幸	新町建設計画と平成28年度予算は
	浜田芳晴	次世代を考える パート8
14	久茂谷美保之	道の駅舞ロードIC千代田の経営は
	田村忠紘	地域住民悲願の有床病院の今後は



藤井勝丸

問 豊平病院の運営と
医療・介護の方針は

答 指定管理に移行し、豊平地域の
医療を守り、経営効率化に努める

問 豊平病院(指定
管理、医療法人に委
託)の経営方針は。

答 豊平病院事務部長

従来の44床、内科、
外科、リハビリ科に
加え、手術を伴う整
形外科、リウマチ
科、漢方内科を加え
経営改善に努める。

問 病院の運営経営な
ど、県や医師会の理解は。

答 保健課長

急な方向転換で豊
平地域の要望に比べ
る。医師の確保が可
能、医療法人の経営
力、意欲などからべ
ストと決断した。

問 医師、看護師は
確保できるのか。

財政的には厳しい
が、豊平地域の医療
を守るためにやむを

答 保健課長

医師確保は難しい。
当面、常駐医師は確
保できない(既存医
師1人に対応)年内
確保に努め、市内か
らの通勤で対応する。
引き続き医師、看
護師の確保に努める。

問 指定管理費(初年
度は3億1400万円、
3年間で7億5400
万円)医師確保などの
課題、地域医療シス
テムを検討し、経営
形態の見直し、再検
討はできないのか。

答 町長

平成25年9月から
実施した健康づくり体
操は、26か所、今年
度2月までの延べ参加
者は約1万7000人、
健康づくりに務め、介
護認定者、医療費とも
に減少の傾向にある。

問 医療介護の方針は。

答 町長

地域包括ケア、地
域医療、介護システ
ム構築、推進する。



中村勝義

問 地域づくりの人材育成
その成果と今後は

答 地域おこし協力隊を採用し
集落の活性化を

問 地方創生が大きな政策課題となつている。地域の再生と集落の活性化を図っていくうえで基盤となるのは、それを担う人材である。集落支援員に加え、緑のふるさと協力隊を配置し地域活性化への取り組みが図られているがその成果は。

答 企画課長

集落支援員は、住民と共に大学生との交流事業やUターン希望者の実態調査、農産物の販路開拓などの実施、緑のふるさと協力隊は、農業支援や地域活動、イベント支援など地

域の方と接すること
で新たな取り組みの喚起、担い手不足を補う役割となった。
更に28年度は地域おこし協力隊を設置し
地域活動に取り組む。

**18歳選挙権教育
学校現場は**

問 選挙権年齢を、
18歳以上に引き下げ
る選挙制度になり、
この7月予定の参議
院選挙から適用され
るが、学校現場は。

答 教育長

小学校では6年生
社会科。中学校では
3年生社会科の中で
扱われている。高校
生については、副教

材が作成されており
各学校に配布され活
用されている。

農業振興対策は

問 主食用米の需要
は年々減少している。
併せて米価の下落も
並行しており、米価
頼みの経営リスクを
解消するために、主
食用米と非主食用米
のバランスが取れて
いるか。

答 農林課長

農家に配布した北
広島町農林業振興冊
子の水田フル活用ピ
ジョンの表に掲載し
てあり、作付面積な
ど今後調整していく。



中田節雄

問 クラブ活動における
生徒の送迎を問う

答 貸し切りバスの準備を
検討していく

問 学校のクラブ活
動の遠征試合で、生
徒の送迎に公用車が
使用できない時、生
徒は現地集合・現地
解散で保護者の都合
により、試合に参加
できない生徒がいる。
なぜこの方針になつ
たのか。

答 教育長

クラブ活動は、教
員の熱意と善意によ
って支えられている。
勤務時間にも制限が
あり、休日の勤務が
当然であることを変
えていく必要がある。
クラブ活動は、学校
の管理下にあり、保
護者の乗り合せは問
題がある。

問 現実に試合に参
加できない生徒がお
り、日頃の練習の成
果が発揮できないた
め、保護者の方も混
乱している。早急な
対応が必要である。

答 教育長

公用車は準備して
いるが、使用できな
いことも多く、貸し
切りバスの準備を検
討する。

**危険薬物(覚醒剤)
の教育は**

問 連日マスコミで
報道されており、大
きな社会問題になつ
ている。危険薬物の
恐ろしさについて、
教育の現状を問う。

答 教育長

DVDを活用し、
非行防止の教育をし
ている。また、啓発
教材を配布の予定で
ある。

**行政文書の文字を
大きくするべきでは**

問 文字が小さく読
みづらいとの声があ
る。高齢者にやさし
いまちづくりの視点
から改善するべきで
はないか。

答 町長

できるところから
改善していく。



大林 正行

問

きたひろネットを光ファイバーケーブルに変換しては

答

投資額が多くなるので慎重に検討する

問 きたひろネットで4K・8Kテレビは見られるのか。(※)

答 総務課長

設備改修しなければ見ることができないが、検討していない。

問 光ファイバーケーブルを整備しブロードバンド環境を整えればIT企業や大企業のサテライトオフィスを誘致することができ、若者を呼び込むことができると思うが。

答 総務課長

そのように思うが投資額が相当なものになるので慎重に検討していきたい。

問

防災無線廃止後の防災情報配信は何を考えているのか。

答 危機管理官

きたひろネットの音声告知放送を柱として屋外拡声器の設置についても研究している。

問

音声告知端末だけのサービスを新設する考えは。

答 総務課長

先の断水の件や広島市の土砂災害を踏まえ情報伝達手段のあり方を検討している。その中で研究を始めている。

ビニールハウスの倒壊被害の実態と支援策は

問 大雪による被害状況と支援策は。

答 農林課長

84戸の農家で116棟のビニールハウスが倒壊した。被害額は6748万円。産直出荷・水稻育苗ハウスに対して事業費5万円以上100万円未満は2分の1の補助金で上限は30万円、事業費100万円以上は3分の1の補助金で上限は50万円を支援する。

※4K・8Kテレビとは高画質テレビのこと



室坂 光治

問

県道40号安佐豊平芸北線の進捗は

答

今後も県に強く要望していく

問

県道40号安佐豊平芸北線、柏尾地区は、幅員が狭く山林に囲まれており、冬期は凍結もひどくスリップ事故も多く発生している。この件は20年くらい解決していない実態である。地元の方からも早急に何とかしてほしいとの相談や苦情を聞いている。

又、除雪後の損傷や白線や停止線が消えかけている箇所について、点検・整備を行い安心・安全に通行できるように対策は。

答 建設課長

現在の状況は町に

問

対し、豊平地域自治振興会より整備・要望を受けている。整備の状況については、現在一時休止にある。県施工の事業のため町としてはなかなか解決できない状況である。町道の調査・点検については、全路線860kmあるため、全ては無理かもしれないが、日常的に職員の通勤や業務上の発見等で早期復旧を心がけていく。

答 町長

県道についてはこれまで県に強く要望して



県道40号安佐豊平芸北線



柿原 徳 則

問 民間活力の取入れ・資産状況を問う

答 新しい手法を研究し、積極的に取り組む

問 バブル崩壊後、民間企業は資産過剰であったため、総資産利益率が低下し、株価が低迷した。市場の信用を獲得するため資金調達を容易にするため保有資産の整理を行った。

答 総合管理計画策定時点で、本町の公共施設は556施設、面積は21万㎡、約178億3000万円である。

問 多くの公共施設が不要、未使用施設は何%ぐらいあるのか。

答 民間資金活用手法の中でPFIという手法があるが当町で使える事業は何か。

自治体も、民間企業に見習い不要な資産（公共施設）を整理し広域地域との連携を図り、整理・統廃合などを進めていく必要があるのではないか。

問 今回の計画については基本の方針を定めたもので不要・未使用の面積がどのくらいかという事については今後公表させていく。

答 本町の事業の実現については今後研究していく。

問 公共施設はどのくらいどの施設・面積・価値があるのか問う。

答 初期投資を抑えるため、民間のアパート・空家を町が借入し、貸出せないか。

問 民間の活力導入についてはいろんな手法があると思う。積極的に導入すべきと思うが町長の所見を問う。

答 町長 新しい手法等、研究して取り組めるものがあれば積極的に取り組んでいきたい。

答 財政課長 北広島町公共施設等

答 財政課長 民間の古くなったアパートを町で借入

答 町長



蔵 升 芳 信

問 新年度予算重点施策の取り組みは

答 定住・子育て支援・集落機能維持等ソフト事業を中心に予算措置

問 本町が直面している人口減少・少子高齢化等の緊急・不可避な課題に対して編成された予算は、財政調整基金等9億5000万円を繰入して編成された。

答 町長 昨年策定した「人ロビジョン」「総合戦略」をもとに、町政運営を進めていく。そうした中で新規事業として、「子どもインフルエンザ予防接種・特定不妊治療費・高校生までの医療費助成の拡大」

これまでの3年間、ハード事業は継続で期限のある事業が中心であった。財政的にも厳しいものがあり、私の取り組みはソフト事業を中心としたものとなった。

この予算は定住・子育て支援対策等に重点的に配分されたとされるがその内容を聞く。これにより地方創生に向けての一步が踏み出されるものとなっているか。

また、町長就任3年間をどう評価されているか、町長の見解を問う。

「赤ちゃんへの絵本提供」「八重小トイレ・千代田中体育館の改修」「子供遊び場づくりの検討」等を行う。

また、地域課題の解決支援など交流人口拡大の取り組み等を中心に施策を展開する。

また、地域課題の解決支援など交流人口拡大の取り組み等を中心に施策を展開する。



梅尾 泰文

問

自然環境を守り快適な生活を

答

里山整備を続ける

問 広い面積を持つ北広島町、その83%が山林である。町有林と財産区でどのくらい

面積があるのか。

答 農林課長

合わせて3185haである。

問 ずいぶん広い面積であるが管理や伐期はどうか。

答 農林課長

伐期が来ていて、切り出しのいい場所では一部木材組合に売った。

問 管理がされた山もあるが民有林も含め山は荒れている。森づくり交付金事業の利用はあるか。

資源に変え、経済流通につなげCO2の排出を削減している。

答 農林課長

本年度は21件の7.6haの実施である。

問 先日、芸北せどやま再生事業が総務大臣賞に選ばれたが、事業内容はどうか。

答 芸北支所長

NPO法人である

が、個人が山の木を切ったものを地域通貨で買い取り、売主は地域で買物ができる仕組み。買い取った木材は個人や芸北オークガーデン等に販売して収入にしている。

問 荒れている山を資源に変え、経済流通につなげCO2の排出を削減している。

非常にいいことであるが、町は支援しているのか。

答 農林課長

していない。

問 芸北以外にこの事業を拡げられないか。

答 町長

この取り組みは素晴らしいと思う。広がればいいと思うが、活動する人がいないと続かない。協力できることはしていく。



手入れのされている山

問

本町の自殺対策の計画策定は

答

実態に即した計画を策定する



森脇 誠悟

問 自殺者数が2万人を超えており、その対策強化のため、「自殺対策基本法」が改定される。今回の改正の特徴的なことは、子供の自殺阻止に向け、学校と保護者との強い連携・協力を一層強化することと、自殺対策の計画をすべての自治体が策定するよう定められている。本町のこれまでの自殺を未然に防ぐ取り組みと、いじめ等に対する学校の取り組み状況を問う。

答 保健課長

本町は、自殺による死亡率が国、県と

比べて高いことから、自殺との因果関係が深い「うつ病」の予防策に力を入れている。特に、ゲートキーパーの養成講座や自殺予防講演会等の開催に取り組んでいる。

答 教育長

定期的に児童・生徒・保護者にアンケート調査を実施し、いじめの早期発見、早期解決に努めている。また、「いじめ相談ダイヤルカード」を配布している。

問 本町の自殺を未然に防ぐための計画策定の取り組みを問う。

答 保健課長

必要だと思うが、行政が引っ張って行くわけにはいかない。自主的な取り組みを期待する。

答 保健課長

県の第2次自殺対策推進計画を参考にし、本町の実態に沿った計画を策定する。

特産品開発にもっと力を

問 より儲かる農業「6次産業化」・「ブランド化」のために、まず、米・野菜・豚・牛・鶏・花・ワイン等多種にわたる生産農家のネットワークづくりが必要ではないか。

答 町長

必要だと思うが、行政が引っ張って行くわけにはいかない。自主的な取り組みを期待する。



藤堂修壮

問 長期総合計画を問う

答 定住を基本に将来あるべき姿を展望し計画する

問 平成19年に策定した長期総合計画の課題や反省点は。

答 企画課長

28年度において住民アンケートを行い、そこで町民から評価を聞く。それを踏まえて役場内のワーキングチームや幹事会で検証していく。

問 長期総合計画はどのような形式で策定するのか。

答 企画課長

アンケート調査や若者、子育て者、定住者の提案や現行の町の計画を参考に素案をつくり、それをまちづくり総合委員会に示し協議する。

問 12月末に完成予定となつているが、まちづくり総合委員会の意見や町民意見が十分計画に反映できるのか。

答 企画課長

計画している日程で進め、できるだけ多くの意見を聞き反映させる。

問 長期総合計画で日本一健康な町づくりの考えは。

答 町長

スポーツを基軸として元気な町づくりを取組んでいる。健康づくりが基本であり今後もおおいに進めるべきと考えている。

教育現場の安全確認を

問 事故防止策への取組は。

答 教育長

事故防止チェック表で点検を行つている。あらゆる面から洗い出しの検討を行い事故防止の徹底を図る。

問 安全対策はどうしても進めなくてはならない。また、予算も伴う。思い切つた財政出動の考えは。

答 町長

命に係わることであり最重要課題として取り組む。



真倉和之

問 小規模企業振興条例を問う

答 条例制定の準備を進めている

問 小規模企業振興基本法は、小規模企業対策の一層の推進を図るために小規模企業政策の基本計画の策定を盛り込み、小規模企業の振興を図るため条例制定すべきではないか。

答 商工観光課長

小規模企業は地域経済の活性化と雇用を支える極めて重要な存在である。北広島町商工会からの要望や経営発達支援計画などを鑑み、中小企業及び小規模企業の振興に関する条例の制定の準備を進めている。

少・高齢化などの進むなかで、行政職員は、行政区地域とどうかかわって行くのか。

答 総務課長

行政職員も地域住民の一人であり、地域住民主導で地域の方と共に地域課題等に取り組み、協働により課題を解決し、地域住民主導で地域づくりを進める事が必要と考える。

担い手不足、集落機能の低下など厳しい状況にあり、T P P 対策は攻めの農業への転換と確実な再生産の支援で、条件不利地の中山間地域の農業が持続的に営めるよう、国・県に要望する。

問 T P P の協定署名と北広島町の農業振興対策は。

答 農林課長

農業従事者の高齢化、後継者不足、



トラクター作業



美濃 孝二

問 断水原因は浄水場能力が限界に達しているからでは

答 長期的、短期的な対策で2度と断水はおこさない

問 断水解除直後から取り組んだアンケート回答に基づき伺う。断水対応マニュアルはあったのか。

答 上下水道課長

なかった。夏までに作成する。

問 広報車は何を言っているのかわからなかった。

答 副町長

アンケートの意見は全部読んだ。今後効果が発揮できるようにする。

問 車のないお年寄りは給水所に行けなかった。背負式災害用ポリ袋の活用は。

答 上下水道課長

反省すべき点があ

った。2340枚の「支援ポリ袋」活用は600袋、すぐになくなるので容器持参をお願いした。

問 原因は「凍結防止の流水により配水池の水位が回復しなかった」とするが主要因にはなりえない。

答 町長

長期的、短期的な対策で対応し2度と断水はおこさない。きたひろネット全戸加入に向け、並行して取り組む。

小規模企業振興条例制定にむけて

問 平成28年中に制定することだが、町商工会だけでなく他の業者団体の意見も聞くように。

答 商工観光課長

民主商工会とも連携し事業を進める。



宮本 裕之

問 農業・農村の多面的機能の評価と食農教育の充実を

答 多面的機能評価は難しい。地産・地消の充実に取り組む

問 農業・農村は、国民への食料提供はもとより、多くの環境保護的役割を担っている。国や県は、この多面的機能を資産として評価しているが、本町の持つ多面的機能を資産評価する考えはないか。

答 農林課長

農業・農村の持つ多面的機能は、洪水防止機能を始め、自然環境保全など多くの役割を担っている。これを資産評価することは、手法的に確立されておらず、誤解を生む可能性もあり、資産評価は難しい。

問 多面的機能の重要性や食農教育の充実についてどう取り組むのか。

答 教育長

社会科や理科、道徳、総合学習の中で多面的機能の重要性を教えている。また、地元野菜や米でできるだけ使用して、生産者の顔が見える給食を目指しているが、給食費の関係があり、十分な状況ではない。

問 TPPを消費者の多くは歓迎と報道されているが、本当にそう思うか。

答 副町長

消費者の中にも



地元食材を使った給食



伊藤久幸

問 新町建設計画の進捗率と地域格差の打開策は。

答 企画課長 進捗率は（事業費ベース）

事業費ベース (%)	H24	H25	H26
芸北	45.0	45.0	46.5
大朝	27.3	30.7	31.2
千代田	54.3	71.1	75.7
豊平	30.0	32.4	35.3
総事業	51.3	57.8	62.6

答 町長 学校耐震化、消防無線デジタル化等、期限のある事業を優先。インフラ整備状況によるので各地域同等には進まない。

問 企画課長 現在の継続事業の

執行や未着手事業の取り扱いを検討。

答 企画課長 町道林道改良、高規格救急車、農業基盤整備等の事業。

問 企画課長 文化芸術の拠点として大朝地域に建設予定。来年度、町が

案を作り地域協議会を軸に協議していく。

問 財政課長 平成28年度重要施策は何か。

答 財政課長 若者定住、子育て支援、集落機能維持、健康対策、高校生までの医療費助成の拡充等々。

問 町長 町・地域・管理者と共同の病院運営を図る。上限は設けていない。

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。

問 新町建設計画と平成28年度予算の内容を問う

答 若者定住 子育て支援等を実行する

問 新町建設計画と平成28年度予算の内容を問う

答 若者定住 子育て支援等を実行する

問 新町建設計画と平成28年度予算の内容を問う

答 若者定住 子育て支援等を実行する

指定管理料と町負担額推移 (万円)	H28	H29	H30
C町負担額(予算措置額)	3億9600	3億3100	2億7100
1)指定管理料	3億1400	2億500	1億9000
2)償還金(元金)	7295	7119	7119
3)医療機器 賃借料等	905	981	981
D地方交付 税算入額	8480	8480	8480
町実負担額(C-D)	3億1120	2億4620	1億8620

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。

問 豊平病院指定管理料3月9日提示。



濱田芳晴

問 平成28年4月より農業委員会法の改正で仕組みと役割がどうかかわるのか。

答 農林課長 平成29年6月まで

任期があるので翌年6月に農業委員と新しく農地最適化推進員を町長の任命制で、決定され、仕事は遊

休農地の解消活動、中間管理事業による担い手への農地集積、有害鳥獣対策などを行う。

問 集積の受け手と推進する立場の話し合いの場が必要なのでは。

答 農林課長 認定農家との話し

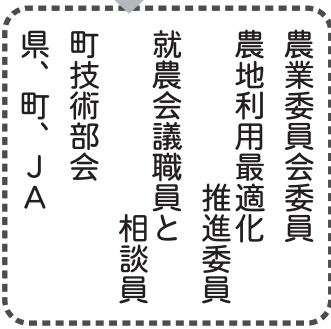
答 町長 人・農地プランの取り組みもあり指示を出している。

問 次世代を考える パート8

答 話し合いの場作りは必要



話し合い



農地の集積

条件不利地の集積を考えると

例 千代田農林建公社の現代版の検討 (次世代の育成 (20~30才代))



久茂谷美保之

問 道の駅舞ロードーC千代田の経営は

答 野菜などの出荷を充実する

問 道の駅舞ロードーC千代田は、平成25年8月12日より指定管理制度になった。

答 2トン車は野菜の収集と、週1回の卸売り事業に使用しているが、3トン車は未使用である。

問 3トン車の活用策、処分案は。

答 農林課長
また、ジビエも注目されていることから、今後検討する。

問 道の駅舞ロードーC千代田は、平成25年8月12日より指定管理制度になった。出張販売は、平成25年度約3411万円、平成26年度約228万円、平成27年度約117万円と減額している。出張販売の取り組みの考えは。

答 農林課長
関係部局と話し合い、対策を検討する。

問 舞ロードの野菜出荷体制を充実する。

答 農林課長
シカ、イノシシ等の皮をナメシ、加工品、革製品開発の考えは。

問 2トン車、3トン車の2台のトラクタを管理しているが、利用状況は。

答 農林課長
本町では、鳥獣被害対策が問題である。

問 道の駅舞ロードでは、シカ肉、イノシシ肉、合鴨肉が販売されている。と畜場、加工場新設の考えは。

答 農林課長
猟友会と提携し、平成28年度に検討する。

問 シカ、イノシシ等の皮をナメシ、加工品、革製品開発の考えは。

答 農林課長
猟友会と提携し、平成28年度に検討する。



道の駅舞ロード



田村忠紘

問 地域住民悲願の有床病院の今後は

答 新体制でスタートするが住民の理解と協力を

問 厳しい経営を続けてきた豊平病院を町長は、平成28年度から病院としての経営形態を、ベッド無し

答 豊平病院事務部長
名称は、北広島町豊平病院で、事業主体は、北広島町である。医療法人に支払う指定管理料は、平成28年度が3億1000万円、平成29年度が2億5000万円、平成30年度が1億9000万円とし、3年後は、今後の情勢次第。

問 職員の給与は、医師を含め前病院のほとんどが町職員として残る。嘱託医、緊急指定手術、健診及び往診等は、体制が整い次第開始する。

問 診療所に変えることを決断されたが、広島市内の医療法人から豊平病院への進出の打診があった。病棟を法人に貸し、経営は法人が行う、公設民営型（指定管理）で、4月からスタートすることで合意できた。

答 入院ベッドが確保されることが決まり、地域住民にとって安心である。

問 今後、どのような体制になるのか伺う。

国からの交付税は、毎年

診療体制（平成28年4月1日～）（町ホームページより）

診療科	診察室	曜日	月	火	水	木	金
内科	1診	午前	○	○	○	○	○
		午後	○	○	○	○	○
	2診	午前			○	○	
		午後			○	○	
7診	午前	○(漢方内科)					
	午後	○(漢方内科)					
外科	5診	午前	○	○	○	○	
		午後					
整形外科	7診	午前			○	○	
		午後			○	○	

がんばっています!!

北広島町立千代田中学校

絆『磨く・磨きあう』

仲間と共に高め合う学校へ

本校は、旧千代田町の5小学校（川迫・八重東・壬生・本地・八重）から、全ての児童が、学習や部活動等に対する目標を持って入学してきます。

本年度は、1年生85名、2年生90名、3年生90名、合計265名の生徒が在籍しています。全学年3クラスと特別支援学級1クラスの10クラスがあります。

学校教育目標「夢や志をもち、創造性豊かにたくましく生きる生徒の育成」自分を磨き、仲間と共に高め合い、主体的に行動できる生徒への実現に向けて、生徒たちは、毎日の学校生活の中で、「当たり前のこととを当り前の前にもよきまの」ことを常とし、授業・部活・学校行事に全力で頑張っています。

本校は、本年度から3年間、広島県教育委員会の「学びの変革」パイロット校事業の指定校となり、これからの変化の激しい社会で活躍するために、本校の生徒に

どんな力を付けることが必要なのか、そして、そのためにどんな授業をしていかなければならないのかを、研究し取り組んでいます。

具体的には、生徒が主体的に学ぶこと、授業の中で仲間と協力して問題を解決していくことに取り組んでいます。



写真は、国語の授業で、グループに分れて、課題に対して解決策を見つかるために、話し合っている様子です。どの授業でも、このように、生徒が自分の考えを持って主体的に学習を進めることができるように取り組んでいます。

次に、主な学校行事について紹介します。

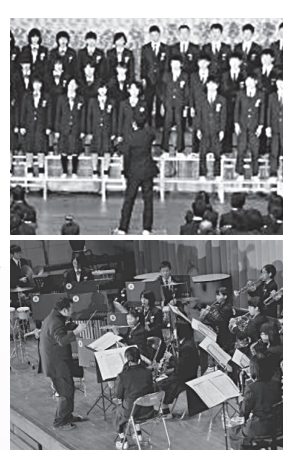
五月に行われた体育祭のテーマは「雲外蒼天（うんがいそくてん）」でした。生徒たちは、この言葉通り、練習ではなかなかうまくいかなかったことも、仲間と協力して乗り越え、本番は、大成功で終了させました。写真は、3年生男子によるリレーです。どの学年も、最後の最後まで力

を抜かず走りきりました。体育祭最後の、全校生徒によるソーランは圧巻で、本当に感動的でした。



11月に行なわれた千代田中フェスタは、テーマ「奏（かなで）」のもと、午前中は、各学年の総合的な学習の時間の発表と文化部及び各教科等の作品展示でした。

午後からの合唱祭では、どの学級も素晴らしい歌声を響かせ審査員の方々を悩ませました。左の写真は、3年生の学年合唱の様子です。生徒のステージでの緊張感と一生懸命さが伝わってきます。下の写真は、吹奏楽部による演奏です。



日々の練習の成果が出た見事な演奏でした。また、趣向を凝らし、会

場を大いに盛り上げてくれました。最後に、部活動を紹介します。体育系11、文科系2の部活があり、全員が部活に入り、日々目標を持って練習に取り組んでいます。

陸上部は、中国中学校駅伝大会で、女子7位、男子9位に入賞しました。下の写真は、町長さんへの入賞報告会の時の記念写真です。

また、サッカー部も県選手権大会3位、県総合体育大会2位となり、さらには、体操部（個人）とスキー部（個人）は全国大会に出場しました。来年度は、どの部も、より良い成績を残してくれると信じています。



また、千代田中太鼓と千代田中ソーラン、そして、吹奏楽部は、地域のイベントにたくさん出演し、盛り上げることで、日頃お世話になっている方々に恩返しをしています。

これからも、千代田中学校は、保護者と地域と学校が手を取り合っ、子供達の成長のために全力を尽くしてまいりますので、どうぞ、よろしく願います。

グループ紹介



社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会
障害者支援センター

さあくる

(役場芸北支所隣)

管理者 大麻 三千之

障害者支援センターさあくるは、パンの製造販売や製品加工を通じた就労訓練と生活介護を、平成20年にスタートしました。その前身は、平成10年に保護者の会たんぼの家が、作業所でパン作りを始めたことが始まりです。昨年からは指定障害者相談支援事業を立ち上げ、利用者の望まれている生活について一緒に考えています。

パンの製造販売では、地域(サロンや施設)への出張喫茶のほかに、最近では買い物にお困りの方へパンのお届けも始めました。小物作りは、町内企業(千代田ハーネス(有)徳山産業(株)、ぞうさんカフェ、上長者農産)の協力を得てゴム製品や雑貨の加工作業、衣類のリフォームと廃油からの石鹼づくりを行っています。仕上がりがとても丁寧で完成度が高く、取引先にたいへん好評です。生活介護では手芸や合奏、絵描きなどレクリエーションを行っています。

障害をお持ちの方が地域で生活していくための拠点であり続けるため、利用者が「わくわく」でき、「ご家族の頼りになる、地域に開かれた事業所を目指しています。

出来立てパンをその場で食べられる喫茶もありますので、ぜひお立ち寄りください。見学も随時受け付けております。



表紙の写真

都市部から北広島町に移住し、地域の皆さんと一緒に地域を元気にする取り組みをすすめる、仕事をおこし、北広島町に定住することを目指しています。北広島町では今年度、初めて3名が町から委嘱されました。みなさんのご支援をお願いします。

白砂匠庸さん、第1回IPCアジア・オセアニア陸上競技選手権大会出報告来庁

しらまさ たくや

白砂匠庸さん、第1回IPCアジア・オセアニア陸上競技選手権大会出報告来庁



大朝地域の白砂匠庸さんが、平成28年3月3日〜12日にアラブ首長国連邦のドバイで開催された第1回IPCアジア・オセアニア陸上競技選手権大会(国際パラリンピック陸上競技部門主催)に出場されました。

白砂さんは槍投げと走り幅跳びの2種目に出場され、両種目とも銅メダルを獲得されました。おめでとうございます。今後の活躍を期待しています。

▲白砂匠庸さん
(中央)

あしがき

3月議会で、寒波による断水、スキー教室での死亡事故など残念で悲しい事故があった。今後第三者委員会でも事故原因を明らかにして対策等に努めなくてはならない。豊平病院の病院としての存続も医師が確保されたとは言えない中での不安なスタートである。安心・安全なまちづくりに全力で取り組む必要性を実感した議会であった。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

- 【発行責任者】 議長 加計 雅章
- 【議会広報特別委員会】
- 委員長 梅尾 泰文
 - 副委員長 美濃 孝二
 - 委員 久茂谷美保之
 - 委員 森脇 誠悟
 - 委員 柿原 徳則
 - 委員 藤井 勝丸
 - 委員 宮本 裕之